



○本校のミッション

- 本校は、平成19年1月、岡山市との合併により「岡山市立建部中学校」となった。生徒は落ち着いた環境と地域を愛する大人たちの熱い思いの中で「地域の宝」として育てている。急激な社会の変化により、地球規模で持続可能性が危惧される中で、人を愛し、自然を愛し、郷土を愛するとともに、視野を広げ夢と希望の実現に向けて心豊かにたくましく生きる力を身につけるとともに、適切な進路選択ができる力を身につけることが期待されている。
- 学校は、未来の地域社会や世界を担う生徒の夢と希望を育み、持続可能な地域・社会づくりに向けて学びを深める場でなければならない。また、学校は地域の教育の学習拠点の一翼を担わなければならない。「岡山っ子育成条例」や「岡山市教育大綱」を受けて、生徒が集団の中で「自立」に向けて必要な力を身につけ、激変する社会で「生き抜く力」を身につけられるようにするとともに、保育園、こども園、小学校、中学校が連携して岡山型一貫教育を推進し、学びの場として家庭や地域社会の信頼に応える使命がある。
- 地域の人材・資源を生かし、**教職員の能力・個性を存分に発揮して、「夢づくり」、「学力づくり」、「人（健康）づくり」を中心とした「建部中『愛燦々プラン』」を推進することで、地域に根ざした特色ある教育活動を実践し、保護者・地域の期待に応えたい。**
- ユネスコスクール加盟校として、持続発展教育E S Dの視点から地域の教育的資源や特色を生かし、小中連携を図りながら実践を推進し、持続可能な地域・社会づくりに貢献できる人材を育成したい。

○学校内外の環境分析

1 内部環境

- 生徒数 **名**、通常学級3クラス、特別支援学級2クラスである。生徒は、**明るく素直であいさつもよくでき**、落ち着いて学習や運動に取り組んでいる。少人数ながら、生徒会活動やボランティア活動も活発である。平成19年3月閉校の旧福渡高校の「ネパールに学校をつくろう」という国際貢献活動を引き継ぎ、全校でアルミ缶回収にも取り組んでいる。
- 昭和45年に2校（建部中と福渡中）の統合校としてこの地に新設されて52年が経過し老朽化は進んでいるが、施設・設備は比較的よく整っている。生徒数が減少傾向にあるが、特色のある教育課程の編成で授業時間を確保するとともに学校行事や生徒会活動も活力あるものになっている。少人数である環境を生かして個に応じた指導の工夫をし、基礎学力の定着や確かな学力の向上にむけて取り組んでいる。
- 学校行事での生徒の演技や意見発表は地域の方からも高く評価されている。総合的な学習「たけべ学習」では、異学年集団で横断的な学習を実践し、地域学習や環境教育に取り組み、創造性やコミュニケーション能力を育てるとともに、持続発展教育E S Dを推進している。
- 教職員は、教育への情熱と生徒への愛情にあふれており、教科指導・生徒指導・部活動の指導・教育環境整備などに献身的に努めている。不登校生徒や特別な支援がいる生徒、学習習慣が身につけていない生徒に対しても、家庭や地域・関係機関と連携して粘り強く取り組んでいる。現在は、「夢づくり」「学力づくり」「人（健康）づくり」を中心にキャリア教育・総合的な学習「たけべ学習」・健康教育等の充実に努めている。
- 平成24年度にユネスコスクールに加盟し、地域の特色を生かしながら、小中連携のもとに持続発展教育E S Dの充実に取り組んでいる。

2 外部環境

- 学区は旧建部町全域で広く、山間部が多い。岡山市への合併以来、高齢化・人口減少が進んでいる。
- 保護者や地域の人々の学校に対する期待は大きく、協力・支援を惜しまない。しかしながら、保護者の価値観が多様化し、家庭の教育力の低下が見られる傾向にあり、思春期の子育てへの支援や家庭・地域との連携がさらに必要になってきている。
- 建部町は、地域をあげてボランティア活動が盛んである。生徒の祖父母を中心とする「建部中シルバーの会」があり、年間4回の奉仕作業を生徒とともに行うなど学校の環境整備を中心に地域ボランティアとして教育活動への厚い支援がある。
- 町内の伝統的な行事や文化活動、ボランティア活動にも多くの生徒が参加して地域の中でも生徒が成長している。平成30年度からは、地域の大人を主体とし、生徒有志が参加する形式の「たけべ部」としての活動も実施している。
- 「地域の子どもは地域で育てる」という温かい風土があり、建部町文化センターや環境学習センター「めだかの学校」等の文化施設の活用や地域人材などとの連携した特色ある教育活動ができる。合同研修会や授業公開等が、保こ小中の連携のもとに実施されている。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン

校訓「自ら学ぶ」

教育目標「仲間と関わり合う中で、自ら深く学ぼうとし、確かな考えを表現できる生徒の育成」

1 目指す学校像

- ・ 激変する社会を生き抜けるよう、自ら考え行動する生徒を育成する学校
- ・ 一人一人に丁寧な指導を行う学校
- ・ 地域や世界の環境や活動、人材から学ぶ生徒を育成する学校

2 目指す生徒像

- ・ 夢をもち挑戦する生徒
- ・ 仲間と共に伸びる生徒
- ・ 自ら考え行動する生徒
- ・ 地域と学校に誇りをもつ生徒

3 目指す教職員像

- ・ 教育専門家として強い信念と情熱をもち、生徒の夢をはぐくむ指導力のある教師 <自立>
- ・ 教育公務員として使命と責任を自覚し、魅力ある授業を創造する授業力のある教師 <創造>
- ・ 人として家庭・地域と協働し、心豊かな生徒を育てる人間力のある教職員 <協働>

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

学校経営目標「生徒一人一人が地域とともに 笑顔を咲かせ 豊かな自分を実らせる学校づくり」
～ユネスコスクールとして持続発展教育（ESD）を推進する～

計画 建部中「愛燦々プラン」の実施 ～生命尊重・人間尊重を基盤として～

①夢づくり

②学力づくり

③人づくり

×

①明るい人間関係づくり

②美しい学校づくり

③開かれた学校づくり

○指導の重点と具体的な計画

1 夢と希望をはぐくむキャリア教育や特別活動の充実に努める。

(夢づくり)

- ・ ポートフォリオの活用
1年：自分発見学習 2年：進路学習、職場体験学習（11/16～18）、だっぴ（11月下旬）、夢と希望を語る会（2/4） 全学年：キャリアパスポート
- ・ 校外学習の実施
1年：閑谷研修（6/14～15） 2年：社会見学（10/28） 3年：沖縄修学旅行（5/11～13）
- ・ 様々な学校行事の実施
体育会（5/27）、飛翔祭（9/16）、新入生を迎える会（4/13）、3年生を送る会（3/9）等

2 主体性を引き出す指導と学習習慣の定着により、確かな学力の向上を図る。

(学力づくり)

- ・ 校内公開授業（全教員年間1回ずつ）、中学校区での岡山型一貫教育の推進（学プロ1年目）
- ・ Chromebook等のICT機器を活用した授業や活動の実践（すららドリルなど）
- ・ 「深い学び」が達成できた生徒の姿を設定した課題設定（めあて）の工夫を行うことで、生徒が主体的に学習に取り組む、授業研究に取り組む。
- ★特別支援教育の視点を活かした生徒が分かりやすい授業。
- ★学習意欲を大切にした導入時の工夫。

3 「人生100年時代」に向けて、豊かな心とたくましい体づくりをすすめる。

(人づくり)

- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する防止対策の徹底
- ・ 生活習慣・食習慣アンケートの実施
- ・ 養護教諭・栄養教諭等とのTTによる授業実践
- ・ 保健だよりによる啓蒙

4 自他の人権を大切に、互いを高め合う人間関係づくりを進める。

(道徳・人権教育の推進)

- ・ A S S E S Sの結果について積極的な分析を行った上での教育相談、学級経営の推進
- ・ 生徒総会や学級会など学校や学級の問題について話し合う活動の実施
- ・ 校則改定を通して人権意識を育む

5 建部や世界の環境や活動、人材から考え方・生き方を学ぶ教育活動の充実に努める。

(ESD/SDGs推進)

- ・ 総合的な学習の時間「たけべ学習」の推進
- ・ 地域の大人が運営する「たけべ部」への参加・協力
- ・ 茶道教室（1年）
- ・ 地域行事への積極的な参加

6 美しい学校・開かれた学校づくりを推進し、環境整備・学校組織の活性化を図る。

(地域協働学校の推進)

- ・ 生徒会による全校交流行事、環境美化活動、あいさつ運動
- ・ シルバーの会と生徒との協働による奉仕作業
- ・ アルミ缶回収の収益による国際・地域貢献
- ・ 学校だより、学年通信、保健だより、図書館だより等の発行
- ・ H Pの継続的な更新

